

# 平成25年度 事業計画

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

## <事業方針>

### 1. 学術活動の推進

- ① 第50回学術集会を開催する。
- ② 専門医学会学術集会を開催する。
- ③ 地方会学術集会の開催を支援する。
- ④ 学会誌を刊行する。

### 2. 専門医制度改革への対応

- ① 専門医制度対策委員会の活動を推進する。
- ② 専門医・認定臨床医育成のための教育を継続的に検討する。

### 3. リハビリテーション医学教育の充実

- ① 卒前教育の最新状況を把握し、専門医制度基本領域にふさわしい卒前教育内容を吟味する。
- ② 卒前教育に必要な講座設置のあり方を提言し、関係機関に働きかける。
- ③ 専門医制度基本領域にふさわしい研修医の研修内容を吟味し、関係機関に提案する。
- ④ 医学生、研修医へのセミナー実施と広報の充実を図る。
- ⑤ 一般医家に対するリハビリテーション医学啓発を推進する。
- ⑥ 関連専門職教育推進を支援する。

### 4. 調査・研究事業の推進

- ① 診療ガイドラインを計画的・系統的・持続的に策定、改訂する。
- ② データマネジメントシステムを合理的に整備する。
- ③ 競争的資金を導入し、多施設共同研究を推進する。

### 5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ① 関連団体との連携体制を再構築して情報交換を強化する。
- ② 制度体系について中期的展望に立った提言を行う。
- ③ 2014年診療報酬改定に向けて要望項目を整理、提出する。
- ④ 時代に即応した医療福祉システムを展望し充実案を提案する。

### 6. 社会への貢献

- ① リハビリテーション医療の充実・普及を図る。
- ② 障害者の社会参加を促進する。
- ③ 市民啓発事業を実施する。
- ④ 脳卒中对策基本法の成立に向けた活動を継続する。

- ⑤ 他学協会と協力して大災害への支援体制作りを行う。

## 7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。
- ④ 国際学会招致の準備を行う。

## 8. 学会組織の見直しと充実

- ① 財政基盤を見直し強化する。
- ② 委員会機能を整備・強化する。
- ③ 危機管理体制を整備する。
- ④ 事務局機能を見直す。
- ⑤ 出版物発行の在り方について総合的に見直す。
- ⑥ 専門医会の在り方を見直す。
- ⑦ 地方会活動を支援する。

## 9. 50周年記念事業の実行

- ① 設立50周年記念式典を行う。
- ② 学会の活動性の向上、社会啓発、国際化の骨子とした記念事業を継続する。
- ③ リハビリテーション医学白書・記念誌を出版する。

## 10. その他

- ① 本医学会の目的に沿った事業を行う。

## <事業計画>

### 1. 学術集会の開催

- 1) 第50回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成25年6月13日、14日、15日の3日間、東京国際フォーラムに於いて開催する。
- 2) 第8回専門医会学術集会を、平成25年11月9日、10日の2日間、札幌市教育文化会館に於いて開催する。

### 2. 諸会議

- 1) 代議員総会 1回
- 2) 理事会
- 3) 倫理委員会  
委員会所管事例の検討
- 4) 専門医会

- ① 専門医会総会の開催
- ② 専門医会学術集会の開催
- ③ 年次学術集会における専門医企画
- ④ RJN 活動
- ⑤ SIG 活動
- ⑥ WG 活動
- ⑦ 専門医間の交流促進
- ⑧ 専門医会実技研修支援
- ⑨ 学会データベースを利用した研究推進
- ⑩ 専門医会研究補助金

## 5) 各種委員会

編集委員会他 15 委員会

### (1) 編集委員会

- ① 学術集会での発表内容の向上、卒前・卒後教育の充実、エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく、質の高い学会誌を発行する。
- ② 学会の広報活動に寄与すべく、各種情報を学会誌に掲載するとともに学会誌の電子化・国際化を一層進める。

### (2) 評価・用語委員会

- ① 改訂第8版用語集編纂に向けた Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用と内容の充実
- ② 50周年記念事業に向けた Web 版リハビリテーション医学用語事典の一般向け解説の公開
- ③ 評価法調査のまとめ
- ④ 委員会としての広報の充実
- ⑤ 他委員会との連携の強化

### (3) 教育委員会

<育成>

- ① 卒前教育カリキュラムと初期臨床研修
- ② カリキュラムの変更に伴う研修手帳の印刷
- ③ 新専門医制度に向けての研修カリキュラムと各研修施設研修プログラムの検討
- ④ 全国の医学部におけるリハ医学教育体制の調査

<生涯教育>

- ① 生涯教育研修会
- ② 実習研修会
- ③ 病態別実践リハビリテーション研修会
- ④ 一般医家リハビリテーション研修会（非会員医師対象の基礎講座）
- ⑤ 専門医受験支援講習会
- ⑥ 指導医研修会
- ⑦ 医療倫理などの専門医受験、更新講習会

(4) 資格認定委員会

- ① 専門医の認定及び更新に関すること
- ② 認定臨床医の認定及び更新に関すること
- ③ 指導責任者の認定及び更新に関すること
- ④ 資格更新に関する管理システム構築に関すること
- ⑤ 新しい専門医制度に関すること

(5) 施設認定委員会

- ① 研修施設の認定及び更新に関すること
- ② 新しい専門医制度に関すること

(6) 試験委員会

- ① 専門医認定、臨床認定医認定のための筆記試験問題作成  
(画像問題・図表を含む)
- ② 専門医認定のための口頭試験問題作成  
同問題の採点基準の作成
- ③ 専門医認定のための口頭試験問題の出題方法の検討
- ④ 専門医認定、臨床認定医認定のための試験資格の審査
- ⑤ 専門医認定、臨床認定医認定のための試験の実施
- ⑥ 実施した試験問題の適切・不適切に関する検討
- ⑦ 実施した試験問題や予備問題の保存・管理
- ⑧ 出題内容、問題作成の手順等の検討

(7) 診療ガイドライン委員会

- 1) ガイドラインコア委員会：活動計画を調整
- 2) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会：
  - ①「脳卒中治療ガイドライン第3版」の作成に向け、活動を行う。
- 3) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会：
  - ①「脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第2版」の作成に向け、活動を行う。
- 4) リハビリテーション連携パス策定委員会
  - ①「リハビリテーションと地域連携・地域包括ケア」の新書籍の出版に向け、活動を行う。
- 5) 障害者体力評価ガイドライン策定委員会
  - ①「障害者体力評価ガイドライン」の作成に向け、活動を行う。
- 6) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会
  - ①「神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン」の作成に向け、活動を行う。
- 7) がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会
  - ①「がんのリハビリテーションガイドライン」の作成に向け活動を行う。
  - ②「がんのリハビリテーションに関するグランドビジョン」の作成に向け、活動を行う。

(8) 社会保険等委員会

- ① 医療保険に関する業務

- ② 介護保険に関する業務
  - ③ リハビリテーション診療報酬体系を検討する業務
  - ④ その他の業務
- (9) 障害保健福祉委員会
- ① 障害者施策の動向と障害児・者を取りまく関連制度等の検討
  - ② 障害者スポーツへのリハビリテーション科医の関わりの検討
  - ③ 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討
- (10) 関連機器委員会
- ① リハビリテーション機器データベース化の準備
  - ② 福祉用具についての広報活動
  - ③ 運動療法機器、作業療法機器についての広報活動
- (11) 関連専門職委員会
- ① リハビリテーション関連職種養成大学（専門学校）と専門医とのマッチング
  - ② 各職種（職能団体）へのアンケート調査
  - ③ 医療研修推進財団への協力
  - ④ 高次脳機能障害関連問題
  - ⑤ 各専門職種に関連専門職委員会への参加
- (12) 会則検討委員会
- ① 規則、内規、申し合わせ等の諸会則の整理と会則間の整合性を図る。
  - ② 医師以外の正会員候補者の入会審査を適正に行う。
  - ③ 諸会則に関わる必要事項の検討を行う。
- (13) 広報委員会
- ① 広報ニュースの在り方を検討する。
  - ② ホームページの改編・管理
  - ③ 会員用 Web システムの有効活用、IT 化の推進
  - ④ リハビリテーション医増員に向けた啓発
  - ⑤ リハビリテーション医学の普及・発展へ向けた啓発
- (14) 国際委員会
- ① 平成 25 年度日本リハビリテーション医学会員海外研修助成プログラムの実施
  - ② 平成 25 年度外国人リハビリテーション医師対象の短期交流助成プログラムの実施
  - ③ Honorary/Corresponding Member の拡充、活動内容見直し継続
  - ④ 英文ホームページの充実
  - ⑤ 英文 annual report の作成と H/C Member への送付
  - ⑥ 50 周年記念事業企画（アジアリハビリテーション医招聘企画など）
- (15) データマネジメント委員会
- ① 日本リハビリテーション・データベース協議会の構成団体としての事業の円滑な運用
  - ② データベースを活用した研究計画・抄録・論文などの審査

#### (16) システム委員会

- ① 現行のリハビリテーション医学会システムの保守、改良
  - ・会員管理・掲示板・メールマガジン・アンケート等に生じた不具合対応
  - ・ログイン者数増加への啓発活動
  - ・危機管理のためのシステムバックアップ導入
  - ・汎用フォーム（アンケートシステム）導入後の検証
- ② 新たなシステムの立つインフラの検討
  - ・e-learningなどが考えられる。
- ③ 研修ポイント、会費等の電子決済の検討
  - ・理事会からの要請に従って活動を開始する。

#### (17) 特別委員会

- ① 設立50周年記念事業実行委員会
- ② 専門医制度対策委員会
- ③ 刊行物の在り方検討委員会

### 3. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年13回（第50回第4号～第12号、特別号、第51巻第1号～第3号）、1回9500部を発行する。

### 4. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」（リハニュース）の57号まで、冊子により発行し、広報ニュースの在り方を検討する。また、リクルート向け特別号として改訂版を発行する。

### 5. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新、追加などを実施する。（適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う。）
- 2) 理事会、各委員会、専門医会と連絡を密にして、コンテンツを充実する。

### 6. 教育及び研修

#### 1) 実習研修会

筋電図、脊損尿路、小児、福祉／地域、動作解析、義手、嚥下、職業、医療コミュニケーションの9研修会を開催する。また、専門的臨床検査、治療技術に関する新企画の検討を行う。

#### 2) 学術集会研修会

第50回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成25年6月13日、14日、15日の3日間、東京国際フォーラムに於いて開催する。

#### 3) 専門医会学術集会研修会

平成25年11月9日、10日の2日間、札幌市教育文化会館に於いて開催する。

#### 4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の3研修会を開催する。

5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会

平成25年4月14日、昭和大学キャンパスに於いて開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する。

**7. 専門医の認定**

専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

**8. 認定臨床医の認定**

認定臨床医の審査認定を行う。

**9. 指導責任者の認定**

申請に基づき指導責任者の認定審査を行う。

**10. 指導責任者の資格更新**

指導責任者の資格更新審査を行う。

**11. 研修施設の認定**

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

**12. 研修施設の資格更新**

研修施設の資格更新を行う。

**13. 専門医の資格更新**

専門医の資格更新審査を行う。

**14. 認定臨床医の資格更新**

認定臨床医の資格更新審査を行う。

**15. リハ医学啓発活動事業**

各地方会で市民公開講座等を開催し、広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

**16. 学術研究助成**

1) 優秀論文への助成

2) 若手研究者への海外研修助成

3) 外国人リハビリテーション医への交流研修助成

4) 専門医会研究補助金

**17. 国際リハビリテーション関連**

- 1) ISPRM、AOSPRM等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。

## 18. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援、協賛等を行う。

## 収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	60,200,000	60,200,000	0	120,400,000
正会員受取会費	59,100,000	59,100,000		118,200,000
賛助会員受取会費	1,100,000	1,100,000		2,200,000
事業収益	156,234,000	0	0	156,234,000
学術集会事業収益	99,766,000			99,766,000
50周年事業収益	10,000,000			10,000,000
会誌等発行事業収益	11,680,000			11,680,000
専門医等認定事業収益	18,320,000			18,320,000
研修会事業収益	4,170,000			4,170,000
専門医会収益	12,298,000			12,298,000
基本財産等運用収益	18,000	400,000	0	418,000
基本財産受取利息		400,000		400,000
学術研究助成基金受取利息	18,000			18,000
雑収益	290,000	10,000	0	300,000
受取利息		10,000		10,000
雑収益	290,000			290,000
<b>経常収益計</b>	<b>216,742,000</b>	<b>60,610,000</b>	<b>0</b>	<b>277,352,000</b>
(2) 経常費用				
事業費	260,606,000		0	260,606,000
学術集会事業費	99,766,000			99,766,000
抄録集作成費	5,000,000			5,000,000
会誌発行費(含償却費)	36,192,000			36,192,000
リハニュース発行費	1,350,000			1,350,000
各種委員会旅費・会場費	11,201,000			11,201,000
各種委員会経費	6,880,000			6,880,000
専門医等認定事業	13,261,000			13,261,000
実習研修事業費	2,000,000			2,000,000
研修会事業費	6,488,000			6,488,000
海外研修助成金	3,400,000			3,400,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業費	1,500,000			1,500,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療がトライン策定	3,634,000			3,634,000
専門医会経費	9,978,000			9,978,000
50周年事業費	14,056,000			14,056,000
給料手当	23,455,000			23,455,000
福利厚生費	3,015,000			3,015,000
退職給付費用	670,000			670,000
旅費交通費	67,000			67,000
ホームページ維持管理費	1,492,000			1,492,000
通信運搬費	1,005,000			1,005,000
情報関連整備費	556,000			556,000
什器備品費	201,000			201,000
消耗品費	235,000			235,000
印刷製本費	1,005,000			1,005,000
光熱水料費	368,000			368,000
賃借料	3,531,000			3,531,000
租税公課	450,000			450,000
支払手数料	1,072,000			1,072,000
減価償却費	16,000			16,000
雑費	402,000			402,000

## 収支予算書(事業別区分経理の内訳表)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
管理費		32,018,000		32,018,000
給料手当		11,545,000		11,545,000
福利厚生費		1,485,000		1,485,000
退職給付費用		330,000		330,000
代議員総会費		1,200,000		1,200,000
理事会費		6,300,000		6,300,000
旅費交通費		33,000		33,000
顧問料		2,772,000		2,772,000
ホームページ維持管理費		734,000		734,000
通信運搬費		495,000		495,000
情報関連整備費		274,000		274,000
什器備品費		99,000		99,000
消耗品費		115,000		115,000
印刷製本費		495,000		495,000
光熱水料費		182,000		182,000
賃借料		1,739,000		1,739,000
租税公課		50,000		50,000
負担金		3,436,000		3,436,000
支払手数料		528,000		528,000
減価償却費		8,000		8,000
雑費		198,000		198,000
<b>経常費用計</b>	<b>260,606,000</b>	<b>32,018,000</b>	<b>0</b>	<b>292,624,000</b>
当期経常増減額	△ 43,864,000	28,592,000	0	△ 15,272,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	23,092,000	△ 23,092,000		0
当期一般正味財産増減額	△ 20,772,000	5,500,000	0	△ 15,272,000
一般正味財産期首残高				162,410,414
一般正味財産期末残高				147,138,414
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				147,138,414